

シーエスラボ
微粒化技術
得意技!

エル

クリーミーローション

Lecithin Emulsification

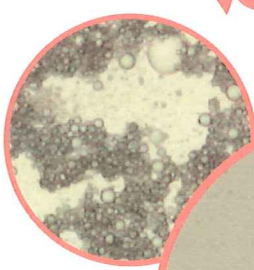
話題のクリーミーローションが、レシチン乳化で

超 深 化

シャバシャバ感は そのままに、よりマイルドに 肌なじみ・浸透感UP!

これまでのクリーミーローションの特徴

- CSラボの得意技! 微粒化技術を駆使して手間ひまかけた逸品
- **高油分のクリームを微粒化して**
ローション状のシャバシャバに!
- だから、クリーム級の【高保湿】【浸透感】【潤い持続感】を実現!
- シャバシャバのテクスチャーながら、しっかり潤い感のある使い心地



↑一般的な化粧水に
水分30%を配合した場合、
水分と油分の粒子が混じり合わず、
分離しているのがわかります。



↑
ナノレベルまで微粒化して、混ぜ合わせた
クリーミーローション。粒形状が観察確認
できない程、均一に分散。きれいに混ざり
合っています。これがCSラボの得意技で
ある微粒化技術です!

安定させるのが難しい
でも肌との相性抜群の
レシチン乳化に挑戦!

さらにすごい! エルクリーミーローションの特徴

●「天然の乳化剤」レシチンのみで、安定乳化に成功!

●レシチンは生体の細胞膜を形成するリン脂質の一種であり、リン脂質の中で最も代表的な成分です。水に溶けやすい親水性のリン酸、油に溶けやすい親油性の脂質等で構成されており、通常は混ざりにくいとされる、水分と油分を細かく分散して混じり合わせる「乳化作用」を持ちます。●そんなレシチンですが、実は水分と油分の分離を起こしやすく、不安定で扱いが難しいことが難点でした。●Lクリーミーローションでは、これをナノレベルまで微粒化することで解決! ●レシチンのみで安定的に乳化することに成功しました。●例えば、マヨネーズは卵に含まれるレシチンの乳化作用を上手く料理に活用した例です。



●「肌親和力」が高いレシチンだから、深浸透を実現!

●レシチンは生体細胞膜の主要な構成要素です。●細胞の中に油性や水性の栄養素を送り込み、老廃物を放出する、生体には欠かすことのできない重要な役割を担います。●同時に皮脂膜の構成要素でもあるので、天然の保湿剤でもあり、角質層ではバリア機能として働き、さらには肌細胞の新陳代謝の活性を促します。●このような性質をもつレシチンは細胞親和力が大変高く、肌によく浸透してなじみ、その優れた力を発揮してくれるといえます。●もともとが生体を構成している成分のひとつという親しみやすさや安心・安全感から、赤ちゃんや敏感肌向け、あるいはナチュラル志向の化粧品等に用いられることが多いようです。

